

【テーマ1】市町村とともに小・中学校の教育力を充実します

めざす方向

- ◆市町村の主体的な取組みを支援するとともに、課題のある学校への重点的な支援を行い、子どもの力をしっかり伸ばす学校力の向上を図ります。
- ◆教育内容の充実や授業改善などへの支援をすすめ、「基礎・基本」の確実な定着と「活用する力」の向上を図り、すべての子どもにこれからの社会で求められる確かな学力をはぐくみます。
- ◆学校教育全体を通して、互いに高めあう人間関係づくりをすすめます。

子どもの力をしっかり伸ばす学校力の向上

＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）＞	＜何をどのような状態にするか（目標）＞	＜進捗状況（R2.3月末時点）＞
<p>■ 中学校の学校力向上に向けた重点支援</p> <ul style="list-style-type: none"> * 中学生学びチャレンジ事業 ・中学生の学力向上と高校入学者選抜における評定の公平性を担保することを目的に、学力調査を実施します。 （スケジュール） 第1学年 令和2年1月9日 国、数、英 第2学年 令和2年1月9日 国、社、数、理、英 第3学年 令和元年6月19日 国、社、数、理、英 * スクール・エンパワメント推進事業 ・学力向上に積極的に取り組む84小学校、41中学校を指定し、学力向上の取組みの中心となる教員を配置します。 ・言語能力の育成に向け、学校図書館を充実・活用するためのモデル小学校を配置します。 ・校内研修への支援、市町村教育委員会訪問を行います。 ・成果のあった事例をフォーラム等により普及します。 	<p>◇ 成果指標（アウトカム）</p> <p>（数値目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> * 令和2年度実施の全国学力・学習状況調査における下記の指標について、全国水準の達成をめざします。 ・「正答率」 ・「無解答率」 ・「全国学力・学習状況調査の結果を、学校全体で教育活動を改善するために活用した学校の割合」 ・「学級の友達との間で話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」児童生徒の割合 <p>（参考）令和元年度 「正答率」</p> <p>＜小学校＞ 府：国語 60.3 算数 66.4 全国：国語 63.8 算数 66.6</p> <p>＜中学校＞ 府：国語 70.0 数学 58.3 英語 56.1 全国：国語 72.8 数学 59.8 英語 56.0</p> <p>「無解答率」 府：小6 4.9% 中3 6.2% 全国：小6 4.5% 中3 5.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校の学校力向上に向けた重点支援 ・6月に、府内中学3年生を令和2年1月に、府内中学1年生・2年生を対象として、学力調査を実施した。 * スクール・エンパワメント推進事業 〔重点小中学校への支援〕 ・府内84小学校、41中学校に対し、スクール・エンパワメント担当教員を配置し、各市町村における学力の課題に応じた取組みを行い、域内に成果を発信。府教育庁は、校長研修（4月）、担当指導主事及び担当教員研修（4月、7月）を実施するとともに、各市町村教育委員会に対して訪問やヒアリングを通じて、取組みの検証及び助言を行った。 ・言語能力育成に向け、学校図書館を活用したモデル小学校12校を指定し、担当教員を配置。学校訪問（5～6月、9月）による取組みの進捗把握及び助言を行うとともに、担当教員研修を実施（6月、11月）。 ・好事例を普及するフォーラムを実施（2月）。

これからの社会で求められる確かな学力のはぐくみ

＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）＞	＜何をどのような状態にするか（目標）＞	＜進捗状況（R2.3月末時点）＞										
<p>■英語教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領の全面実施に向け、新しい小学校英語教育に対応した研修を実施し、教員の英語指導力の向上を図ります。 ・小学校では、平成30年から3年間で全小学校に英語教育リーダーを育成します。また、平成27年度に作成した大阪府公立小学校英語学習6カ年プログラム「DREAM」の普及と指導者への支援を行い、英語教育の充実を図ります。 ・中学校では、府内7地区にモデル市を位置づけ、その取組内容を府内に広めることにより英語の授業を改善し、生徒のスピーキング力の向上を図ります。 <p>■授業改善への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府教育センターにおいてICTを活用した授業づくりの研修を実施します。 <table border="0" data-bbox="224 925 582 1005"> <tr> <td>ICT活用基礎研修</td> <td>60名</td> </tr> <tr> <td>タブレット活用基礎研修</td> <td>48名</td> </tr> </table> ・市町村における授業改善をリードし、所管の学校の校内研究に関わり授業改善の推進に資するため、指導主事学習会を実施します。 	ICT活用基礎研修	60名	タブレット活用基礎研修	48名	<p>◇成果指標（アウトカム） （数値目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立中学校の中学3年生の内、CEFR(*1) A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒の割合50%をめざします。 （参考）平成30年度 45.3% ※政令市除く <p>▷ ◇成果指標（アウトカム） （数値目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中にICTを活用して指導する能力（※）の向上をめざします。 （参考）平成30年度 <table border="0" data-bbox="985 989 1433 1069"> <tr> <td>公立小学校</td> <td>72.1%</td> <td>（全国70.8%）</td> </tr> <tr> <td>公立中学校</td> <td>66.4%</td> <td>（全国66.1%）</td> </tr> </table> <p>※学校における教育の情報化の実態等に関する調査（文部科学省）において、「授業中にICTを活用して指導する能力」の質問に対し、「わりにできる」「ややできる」の割合の合計。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導主事学習会参加者アンケートにおける肯定的評価90%以上をめざします。 	公立小学校	72.1%	（全国70.8%）	公立中学校	66.4%	（全国66.1%）	<p>○英語教育の充実 〈小学校〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導に対する資質・能力の向上を図るため、各校の中核となる教員を対象に「小学校英語教育実践リーダー研修」を実施（5月、7月、8月、10月）。 受講者数：224名 ・府内「DREAM」導入状況 38自治体 <p>〈中学校〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル7市が、生徒の英語を使ったコミュニケーション力を育成する授業を公開（6月、7月、9月、10月、11月、12月、1月、2月）。 合計28回 参加者数合計998名 <p>▶ ○授業改善への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的にICT機器を活用しようとする教員をサポートするため、以下の研修を実施した。 ICT活用基礎研修 2回 参加者数：61名、肯定的評価：97.1% タブレット活用基礎研修 2回 参加者数：47名、肯定的評価：92.2% <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善の推進に係る指導主事学習会を以下の通り実施。学習会参加者アンケートにおける肯定的評価は98.5%（各回平均）。 校内研究支援基礎（3回）のべ参加者数：125名 国語学習会（4回）のべ参加者数：116名 算数・数学学習会（4回）のべ参加者数：122名 外国語学習会（4回）のべ参加者数：102名
ICT活用基礎研修	60名											
タブレット活用基礎研修	48名											
公立小学校	72.1%	（全国70.8%）										
公立中学校	66.4%	（全国66.1%）										

・「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざすため、校内研究担当者の研修や、授業づくり研修を府教育センターで実施するとともに、市町村の授業づくり研修を支援します。

■新学習指導要領に向けた取組み

・「小学校プログラミング基礎研修」「小学校プログラミング応用研修」「市町村指導主事学習会 -プログラミング教育-」を実施します。

・市町村の授業づくり研修支援、20講座以上をめざします。
(参考) 平成30年度 実施講座数 21講座

◇成果指標 (アウトカム)

(数値目標)

・小学校段階におけるプログラミング教育に関する研修受講者アンケートにおいて、肯定的評価90%以上をめざします。

・市町村支援メニューを活用した授業づくり研修を26講座、また、市町村等の要請による研修支援を39回実施。

新学習指導要領がめざすもの (2回)

- 参加者数 : 123名
- 小学校算数授業づくり (3回) 参加者数 : 82名
- 小学校理科授業づくり (2回) 参加者数 : 44名
- 小学校外国語授業づくり (6回) 参加者数 : 142名
- 小学校道徳授業づくり (1回) 参加者数 : 45名
- 中学校国語授業づくり (3回) 参加者数 : 36名
- 中学校数学授業づくり (3回) 参加者数 : 44名
- 中学校外国語授業づくり (1回) 参加者数 : 16名
- 中学校道徳授業づくり (5回) 参加者数 : 141名
- 要請支援 (39回) 参加者数 : 1701名

○新学習指導要領に向けた取組み

・小学校におけるプログラミング教育の実施に対応できるように、以下の研修を実施した。

- 小学校プログラミング基礎研修 (2回)
参加者数 : 50名、肯定的評価 : 95.8%
- 小学校プログラミング応用研修 (1回)
参加者数 : 11名、肯定的評価 : 93.2%
- 市町村指導主事学習会-プログラミング教育 (1回)
参加者数 : 34名、肯定的評価 : 100.0%